

六郷特別出張所管内	
人口	男 32,916名
	女 31,024名
	計 63,940名
世帯数	31,148世帯
平成23年2月1日現在	

六郷わがまち

発行 地域力推進六郷地区委員会
 編集 「六郷わがまち」編集委員会
 事務局 大田区六郷特別出張所
 〒144-0055
 大田区仲六郷2-4 2-2
 電話 03(3732)4885(代)
 FAX 03(3735)6249

東六郷二丁目町会 シニア「パソコン教室」

土曜日の午前。町会会館の中から熱気に溢れた話し声と、時に笑いも聞こえている。この日を楽しみに集まった生徒と先生達による「パソコン教室」である。

厚生部で3年前から続くこの事業は、パソコンを習いたいというシニアと、指導をかってきた若い役員のもと、町会の発展に寄与するものと参加費は無料。

当初は数台であったパソコンは、その後中古を集めて現在12台。中には自前で新品の



ノートパソコンを持ち込み、覚悟を決めた生徒もいる。

初めての宛名書きや表計算、そしてプリントなどの授業では、パソコンの威力に感嘆の声。すでにコースを終了した人たちからは、

- ・解らないことは何度も教えてもらい助かる
- ・70歳過ぎて始め、町会名簿も作れた
- ・メール開くたび ドキドキ人の輪が広がる
- ・デジカメでアルバムや送受信を楽しむ
- ・まずはネット検索から、人生の杖になるなどでした。

南六郷三丁目町会 町会の生き字引き

不肖、加藤正春は町会の副会長として30年、解らないことがあれば私に聞けば解決すると周りからは町会の「生き字引」と言われて現在86歳。町会行事の時は裏方で進行がスムーズにいっくように見守っています。

第9回大田区カラオケ大会で「あこがれのハワイ航路」を歌い優勝しました。六郷地区として優勝したのは私だけと自賛しています。未だにいろ

いろな処で唸っております。また、祭りの季節になると血が騒ぎ、じっとしていられず大森・蒲田地区にまで自転車で神輿を追いかけます。

さらに、町会の美化衛生部に所属していた昭和50年頃には六郷堤の桜の木の世話をし、見事な花見が出来るようにしました。現在でもなお桜の木の剪定を手伝っています。

最後に、大相撲の地元南六郷中学校出身の北勝力関(八角



部屋)の応援をしております。興味のある方は私に相談してください。なぜならば、私は町の生き字引き……

南六郷一丁目町会 40年続くリサイクル活動

毎月 第一日 曜を収集日として、リサイクル品を各家庭が集積所に集めます。そして9時には広報車で町内を回り呼びかけています。



集荷は業者に依頼してトラックで回り、班長以上役員約30数名が毎月交代で寒いときには手をこすり、暑いときには汗を流しながら集荷の手伝いに当たっています。

リサイクル品は、ここ2、3年大田区でも回収を始めるようになり、又景気の落ち込んだ年には出方が減少し、始めた頃に比べて品数も半減しています。しかし皆様の協力により「ちりも積もれば……」

町会活動の収入源のひとつとして役立っています。

使い道としては、敬老の日お年寄り75歳以上全員(22年度該当者427名)に記念品や飲食代、そして、子どもたち(参加児童91名)の夏季レクリエーション費用として活用し、町会の皆様には大変喜ばれています。

これからも町会員の皆様のご活躍、ご協力でこの活動が長く続くことを願っています。

南六郷二丁目町会 みんなの「ふれあいまつり」

平成22年、南二和公園で開催した「ふれあいまつり」は第10回を迎えました。

町会内に学校が無いのに加え、参加する子どもの減少で夏休みのレクリエーションも行えず、子ども達との「ふれあい」を大切に開催されたのが始まりです。

模擬店やお餅の配布、そして輪投げや輪ゴム鉄砲作り等の懐かしい遊び、カラオケ大会等、町会理事やPTAの役員さん達が、工夫を凝らして



まつりを盛り上げ、今では大人も子どもも楽しみな夏休みの1日になりました。特に盛り上がるのはまつりの最後を

飾り、皆が参加する《大抽選会》！ 事前に班長さんが一軒、一軒クジを配りますが、このクジにはカラクジがありませぬ。第10回の一等賞は自転車、他に町会内で使える商品券や新米などが賞品として並びました。当たらなかつた人にもちゃんと残念賞が用意されています。

「明るく住みよい町会・防災に強い町会・みんなが参加する町会」楽しい事は地域ぐるみで行います。

「わが町のイチオシ」を前号に続いてご紹介します

わがまち自慢 (後編)



東六郷一丁目町会 「未来っ子」登場!



わが町会の宝、未来にはばたく、小学生が登場します。平成19年から21年までの町会誌『とういち便り』で紹介した子供たちです。

最初に、サッカー選手を目指すM君は、「ミッキーサッカークラブ」に所属、ミッドフィルダーで主将。スポニチ主催の横浜マリノスカップ優勝など、歴戦の勇者です。

和太鼓の女性奏者で努力するIさん。「響き会」の一員として対外出場も多数。将来は立派な保育士に。

ピアノストへ飛翔するHさん。8歳でショパンコンクール・アジア大会に入賞。9歳でポーランド交響楽団と共演、10歳で欧州へ留学。コンサート歴も多い。



将来は野球選手に。第49回六郷地区少年野球大会では当町会チームを優勝に導いたS君はプロの世界を夢見る。そして、I君はチーム「東京ウイング」の3番サード。区城南軟式野球連盟で活躍。夢はWBCに出場すること。

一輪車の名手はM君。交通安全ルールを遵守して颯爽と街を駆けまわると。社会に出たら、友人と一緒に起業家を目指す。

東京都美術館で開催された第29回全国学生書道展で「秀作賞」を受賞したSさん。一方、文字ではなく墨を用いて水墨画に挑戦中のNさん。黒色の濃淡がグラジエントに描ける

祝
50周年
平成23年度
東六郷小学校と
南六郷中学校が
開校50周年を
迎えます
おめでとうございます



東六郷三丁目町会 歴史を語る六郷小



六郷の地区には、小学校が8校。その中で、最も長い歴史を有するのが当町会の「六郷小学校」である。明治11年に開校して以来、百三十五年が経つ。その間、西六小、出雲小、高畑小そして東六小へと、それぞれの域内の小学生の増加にともない分離独立していく。

いわば、六郷小が親としたらそれらの学校は親から巣立った子供といえよう。

大正12年の関東大震災では、校舎が倒壊した。昭和20年の太平洋戦争では校舎が焼失するなど、おおきな災害に遭遇した。



木造校舎は鉄筋化され、耐震補強も行われて今日に至った。

校章は「六」の字に模した五枚の花びらの中央に「郷」の字をあしらったものである。戦後の焼け野原に美しく咲いた桜の木で平和を象徴したかったのだらうか。校歌には「皆、健やかに学び励めば、かざす桜に雲も照る」とあった。

我が街の誇りである。

仲六郷二丁目町会 私と尺八



自分は武道をやっているせいかわ洋楽よりも邦楽好き。ある日、NHKの日本伝統音楽で尺八の演奏を聴きました。

こんなに素晴らしい音楽があるのかと感動し、伝統ある琴古流尺八の川瀬順輔師に入門。いつの日か指導者にとの思いで、楽しい時も苦しい時も自分で決めた道だから稽古はかかさず、6年で師範になりました。

日本の伝統音楽を子ども達に教えたいと平成14年、当時の町会長や役員の人達と仲六郷小学校に行き、校長に話したところ「それは良い」と理解していただきました。

”塩ビの水道管を利用した尺八”を考案して作り、6年生約90人の課外授業を始めました。

今は仲二町会会館で、子ども達に教えています。親の協力、町会役員の協力があればこそ、子ども達は部活や塾と多忙にもかかわらず、尺八の練習にきます。

自慢の子ども達は、「趣味はありましか」という質問に「尺八です」と言えるようになったことなど、みんなが伝統の尺八を吹けた喜びと誇りを語ってくれました。(長沼秋輔)



南六郷二丁目団地自治会 趣味の道に終りなし

当町会イチオシで紹介するのは「塚本節子」さん。

大森で生まれ育ち、苦学して国家試験を合格し、美容院を始める。70歳となった経営は娘さんにバトンタッチ。当地に移り今年85歳。

趣味は多彩で古式泳法とは30年余り前に出会い、今も続けています。荒谷派の流れをくむ三代目の黒岩正夫先生に学びました。そして、筆頭師範代の資格を得、中高年の人を対象とした指導に励んでいます。



一番手前の方が塚本さん

また、俳句が好きで、日向野花郷先生のもとで習作していたという。昨年の区民プラザ展示会への出品作一句を披露。

「酒焼けの婆の饒舌銭湯初夏」

趣味はこれだけではなく、絵画や彫刻にも興味をもち、水彩画や石に絵を描いたり、小さな仏像を彫ったりと、多種多様で人生はまだこれからとのバイタリティーに圧倒されました。